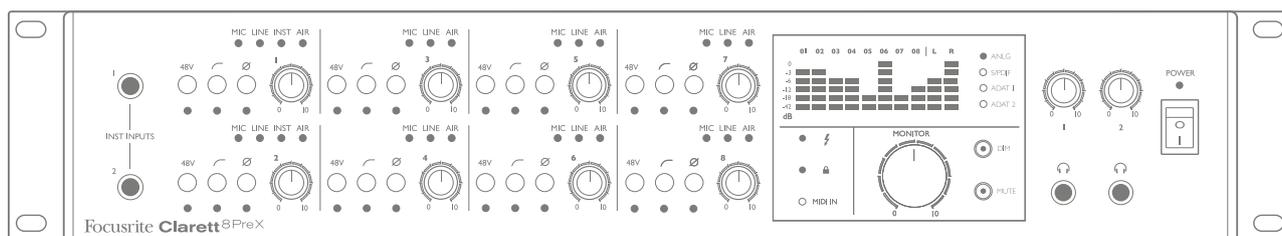


Clarett 8Pre X

ユーザーガイド



Focusrite®
www.focusrite.com

目次

概要	3
はじめに	3
システム要件	3
特徴	4
同梱物	4
さあ、始めましょう	5
ソフトウェアのインストール	5
各部の名称と特徴	6
フロントパネル	6
リアパネル	8
Clarett 8PreX を接続する	10
コンピュータのオーディオセットアップ	10
DAWでのオーディオのセットアップ	10
Clarett 8PreX をラウドスピーカーに接続する	11
使用例	12
1. バンドのレコーディング	12
2. プロジェクトスタジオ	13
3. オプティカル接続を使用して入力部を拡張する	14
4. オプティカル接続を使用して出力部を拡張する	15
FOCUSRITE CONTROL - 概要	16
Clarett 8PreX 技術仕様	17
性能仕様	17
物理的特性と電気的特性	18
トラブルシューティング	19
著作権表示と法定通知	19

概要

警告:イヤホンやヘッドフォンからの音圧レベルが高すぎると、聴力障害を引き起こす恐れがあります。

警告: 本製品を Thunderbolt™ ポート以外に接続しないでください。

はじめに

Focusrite Clarett 8PreX をご購入いただきありがとうございます。Clarett 8PreX はプロフェッショナル用 Thunderbolt™ オーディオインターフェースのシリーズの 1 つであり、独自の 'AIR' 機能を備えた新設計の高品質 Clarett アナログプリアンプを搭載しています。Focusrite Control アプリケーションと組み合わせて使用することで、コンピュータレコーディングシステムとの間で高品質のオーディオを超低レイテンシーでルーティングすることができ、多目的かつプロフェッショナルなニーズに答えます。

また、一度 Focusrite Control ソフトウェアで設定すれば、その他のレコーディング機器に対するスタンドアロンのインターフェースとして Clarett 8PreX を使用することもできます。

本ユーザーガイドでは、本製品の操作上の機能を十分理解していただくために、本体について詳しく説明しています。Clarett 8PreX が持つ全ての可能性を把握していただくために、コンピュータベースのレコーディングが初めての方や既に経験豊富な方を問わず、あらゆる方に本ガイドを最後までよく読んでいただくことを推奨します。

重要: 本ユーザーガイドに加え、Focusrite Control ソフトウェアガイドを読んでいただくことを推奨します。

ソフトウェアガイドは、<http://uk.focusrite.com/downloads> よりダウンロードが可能です。これには、Focusrite Clarett インタフェースで使用するために特別に設計されたソフトウェアアプリケーション Focusrite Control の詳細が記載されています。

いずれのガイドからも必要な情報が得られない場合は、一般的なテクニカルサポートへの問い合わせに対する全般的な回答を含むウェブページ、<http://www.focusrite.com/answerbase> を参照してください。

システム要件

重要 - 全ての Clarett 製品のコンピュータおよびオペレーティングシステムの互換性に関する最新情報については、以下のリンクを参照してください:

www.focusrite.com/clarett/compatibility

特徴

Clarett 8PreX ハードウェアインターフェースは、コンピュータの Thunderbolt™ ポートを使用することで、マイク、楽器、ラインレベルのオーディオ信号およびデジタルオーディオ信号をコンピュータに接続することができます。入力部には接続された信号は、オーディオレコーディングソフトウェア/デジタルオーディオワークステーション（本ユーザーガイド全体で「DAW」と称します）にルーティングすることが可能です。同様に、DAW からの出力を本体の出力部に送るように設定することができます。

マイク、楽器などのオーディオソースを DAW に録音し、アンプやスピーカー、パワードモニター、ヘッドフォン、ミキサー、その他のアナログやデジタルオーディオ機器を使用して再生することができます。Clarett 8PreX の全ての入出力は録音や再生の際 DAW に直接ルーティングされますが、Focusrite Control アプリケーション内で任意のルーティングを設定して正確なニーズに合わせることも可能です。ルーティングに関する詳細は、Focusrite Control ユーザーガイドを参照してください。

Clarett 8PreX では、同時に 26 入力および 28 出力を実現します。高品質なアナログ信号を生成するインターフェースとして機能すると共に、Clarett 8PreX では、44.1/48kHz サンプルレートで 16 チャンネル、88.2/96kHz で 8 チャンネル、そして 176.4/192kHz で 4 チャンネルのマルチチャンネルデジタルオーディオを、ADAT オプティカル形式で処理することも可能です。また、S/PDIF 入出力にも対応しています。

Clarett 8PreX を外部ワードクロック信号のスレーブまたはマスタークロックソースとして、スタジオ内の他のデジタルオーディオ機器と簡単に同期させることができます。また、MIDI データ送受信用の標準 DIN コネクタも装備しています。

Clarett シリーズ製品の全てのモデルの重要な特徴として、最新型の設計が施されたアナログプリアンプが挙げられます。クラス最高のダイナミックレンジと、必要とされる全てのゲインを供給する機能に加えて、エキサイティングな新しい 'AIR' 機能が回路内に含まれています。各チャンネルで個別に選択可能な 'AIR' は、プリアンプの周波数特性をわずかに変更することで、Focusrite の伝統的なトランスフォーマーベースの ISA マイクプリアンプのインピーダンスとレゾナンスをエミュレートします。クオリティの高いマイクで録音を行った際には、ボーカルや多くのアコースティック楽器にとって最も必要とされる、中高域の周波数の明瞭さと鮮明度がより向上されます。

付属のソフトウェアアプリケーション Focusrite Control は、ユーザーの操作を最小限に抑えるように設計されているため、最も一般的なレコーディングタスクに適した信号ルーティングで Clarett 8PreX を簡単に設定できます。より複雑なシチュエーションで使用する場合には、詳細なルーティングおよびモニタリングオプション、サンプルレートや同期などの一般的なハードウェア設定を制御することができます。

Clarett 8PreX の全ての入力は、録音の際 DAW ソフトウェアに直接ルーティングされますが、Focusrite Control を使用することで、本体内のこれらの信号を内部的に出力へとルーティングすることも可能です。これにより、必要に応じてお使いの DAW に信号が達する前に超低レイテンシーでオーディオ信号をモニターすることができます。

同梱物

Clarett 8PreX には以下が付属します：

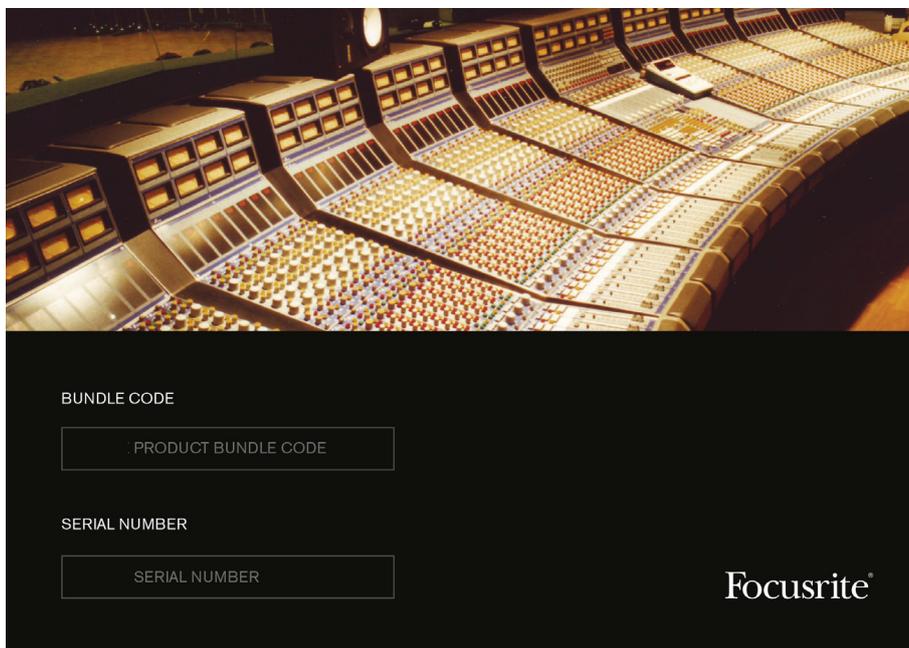
- IEC コネクタ付属 AC 電源ケーブル
- 次のオンラインリソースにアクセスするためのコードを含む「Getting Started Guide」（英語）：
 - 該当するドライバ
 - 1GB の Loopmasters サンプル集
 - Focusrite Control
 - Focusrite Red 2/Red 3 プラグインスイート

さあ、始めましょう

重要: インターフェースをコンピュータに接続する前に、Clarett 8PreX ドライバをインストールしておいてください。

ソフトウェアのインストール

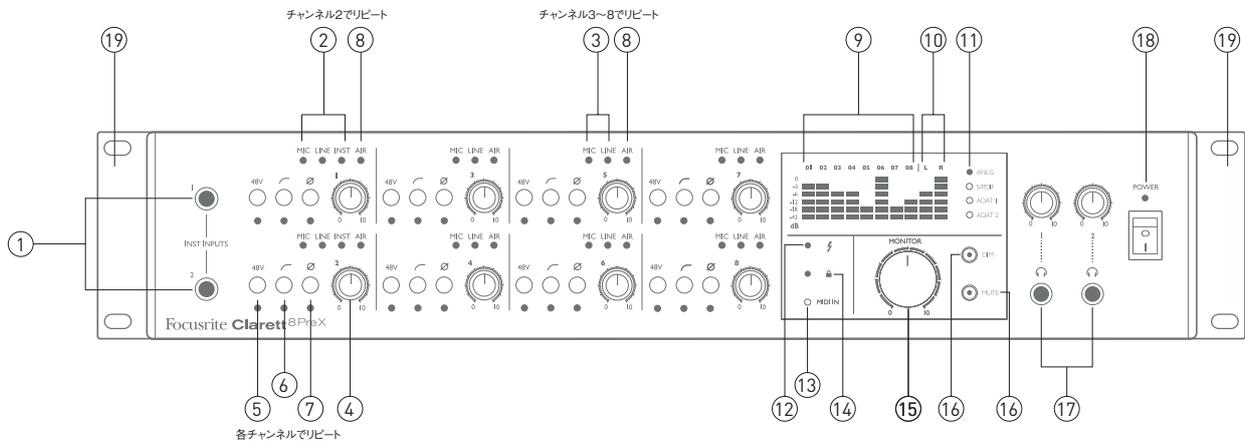
Clarett 8PreXが必要とする全てのソフトウェアには強力かつ便利な追加機能が含まれており、Focusrite ウェブサイト (www.focusrite.com/register) よりダウンロードが可能です。Clarett 8PreX に付属する重要な情報には、上記のウェブアドレスで入力する必要のある認証コードが含まれます。この手順を踏んでいただくことで、最新のソフトウェアバージョンが確実にインストールされます。



1. お使いのブラウザで、www.focusrite.com/register/ にアクセスします。
2. 画面上の指示に従って、バンドルコードを入力します。バンドルコードは、同梱の「Getting Started Guide」(英語) の裏面に記載されています。
3. 本体のシリアル番号を入力します。こちらも「Getting Started Guide」(英語) の裏面に記載されています。
4. すると「My Product」ページにアクセスできるようになるので、こちらで登録した製品のソフトウェア製品をダウンロードが可能です。また製品には、必要に応じてアクティベーションコードが含まれています。
5. 本インターフェースに必要なドライバを含む Focusrite Control をダウンロードし、インストールします。画面上の全ての指示に従います。
6. インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。
7. 再起動後、Clarett 8PreX を Thunderbolt ケーブルでコンピュータに接続します。
8. 使用を始める際に不明な点がある場合は、こちらの動画ガイドをご覧ください。
www.focusite.com/get-started

各部の名称と特徴

フロントパネル

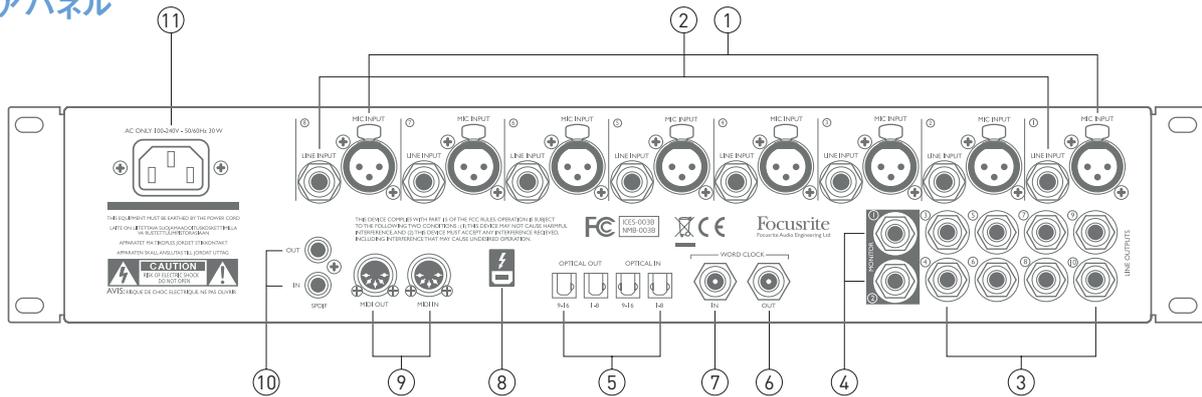


フロントパネルには、すべての入力ゲインとモニタリングコントロールに加えて、楽器のジャック用の2つの入力端子と2つのヘッドフォンソケットが備わっています。

1. **INST INPUTS** - チャンネル1および2用の2つの1/4インチTSジャックソケット。ハインピーダンス入力。こちらに楽器（ギターなど）を接続します。
2. **MIC、LINE、INST** - チャンネル1と2で現在選択されている入力を示す、2セットの3つの赤いLED。Mic/Line/InstをFocusrite Controlから選択できます。
3. **MIC & LINE** - チャンネル3-8で現在選択されている入力を示す6つのペアの赤いLED。Mic/LineはFocusrite Controlから選択できます。
4. 入力ゲインコントロール **1 - 8** - 8つのロータリーコントロールでチャンネル1-8に送られる信号の入力ゲインをそれぞれ調整します。
5. **48V** - チャンネルごとに備わったスイッチで、対応するリアパネルのXLRマイク入力に48Vのファンタム電源を供給します。各スイッチには、ファンタム電源が選択されていることを示す赤色のLEDが搭載されています。
6. **ハイパスフィルター** - チャンネルごとに備わったスイッチで、不要な低周波の部分を取り除きます。12dB/オクターブのスロープで、80Hzで-3dBとなります。各スイッチには、フィルターが有効であることを示す赤いLEDが備わっています。
7. **フェイズリバース** - チャンネルごとにスイッチが備わっており、各スイッチにはリバースフェイズを示す赤いLEDが搭載されています。
8. **AIR** -- Focusrite Control内で'AIR'機能が選択された際に黄色のLEDがチャンネルごとに点灯します。'AIR'では、入力部の周波数特性を変化させることによって、伝統的なトランススペースのFocusrite ISAマイクプリアンプをモデリングします。
9. 入力信号レベルメーター：チャンネルごとに備わった、計8つのLEDバーグラフ。各セグメントは、-42、-18、-12dBFSで緑色、-6および-3dBFSで黄色、0dBFSは赤色で示されます。入力信号は入力ゲインコントロールの後の段階のものが示されるため、このレベルでDAWに送信されます。

10. 出力信号レベルメーター:Output 1 および 2 の信号レベルを示す 2 つの LED バーグラフ。表示は入力メーターの通りです。出力信号はモニターレベルコントロール前の段階のものが示されるため、設定したボリュームはメーターが示すものと独立しています。
11. **ANALOG、S/PDIF、ADAT 1 & ADAT 2** – 現在入力メーターで示されている信号のソースを示します。メーターのソースは Focusrite Control から選択できます。
12.  (Thunderbolt が有効) – 本体がコンピュータとの接続を認識した際に緑色の LED が点灯します。
13. **MIDI** – リアパネルの **MIDI IN** ポートに MIDI データを受信している場合に緑色の LED が点灯します。
14.  – Clarett 8PreX の内部クロックまたは外部デジタル入力のいずれかに対するクロック同期を示す緑色の LED。
15. **MONITOR** – メインモニター出力レベルコントロール – このコントロールは通常リアパネルのメインモニター出力のレベルを制御しますが、Focusrite Control で構成することで、本体に備わった 10 個のアナログ出力のいずれのレベルをも調整することが可能です。
16. **DIM** および **MUTE** – Clarett 8PreX のモニター出力を制御する 2 つのスイッチ。DIM は 18dB ずつ出力レベルを下げるのに対し、**MUTE** では出力をオフにします。デフォルトでは、これらのスイッチはメインモニター出力 1 と 2 に影響を与えますが、Focusrite Control を使用することでフロントパネルのモニターコントロールで選択されたアナログ出力のいずれにも作用させることができます。この機能が選択されると、それぞれのスイッチが内部で点灯します (DIM: 黄色、MUTE: 赤色)。
17. ヘッドフォン **1** と **2** – 1 つまたは 2 つのステレオヘッドフォンをコントロールの下の 2 つの 1/4 インチ TRS ジャックソケットに接続します。ヘッドフォン出力は常に Focusrite Control でアナログ出力 7/8 および 9/10 に現在ルーティングされている信号を伝送します。
18. **POWER** – AC 電源スイッチおよびオンを示す LED。
19. 標準 19 インチのラックに Clarett 8PreX を取り付けるためのラックイヤー。

リアパネル



リアパネルには、Clarett 8PreX のさらなる入出力が備わっています。

1. **MIC INPUTS 1 - 8** - 3ピン XLR 端子で 8 つのマイク入力をバランス入力で実現します。標準 XLR マイクケーブルでマイクを接続します。
2. **LINE INPUT 1 - 8** - 1/4 インチジャックソケットが備わった 8 つのバランスライン入力。ラインレベル信号を接続します。ラインレベル信号には 1/4 インチ TRS (バランス) または TS (アンバランス) ジャックプラグを使用できます。
3. **LINE OUTPUT 3 - 10** - 1/4 インチ (6.35mm) ジャックソケットの 8 つのバランスアナログライン出力。バランス接続には TRS ジャック、アンバランス接続には TS ジャックを使用します。これらの出力にルーティングされる信号は Focusrite Control で定義され、一般的にはミッドフィールド、ニアフィールドなどのスピーカー、マルチチャンネルモニタリングシステム用の追加スピーカー、またはアウトボード FX プロセッサにオーディオを送るために使用できます。
4. **MONITOR 1** および **2** - 1/4 インチジャックソケット上の 2 つのバランスアナログライン出力。バランス接続には TRS ジャック、アンバランス接続には TS ジャックを使用します。これらは本システム内で LINE OUTPUT 1 および 2 を担い、モニタリングシステムにおけるメインの L/R スピーカーを駆動するために使用されます。出力部への信号のルーティングは Focusrite Control でカスタマイズが可能です。
5. **OPTICAL IN** および **OUT** - 44.1/48kHz サンプルレートのデジタルオーディオチャンネルを 8 つ (1-8 および 9-16)、88.2/96kHz では 4 つ、176.4/192kHz では 2 つの伝送を ADAT フォーマットで実現する TOSLINK コネクタ (2 つの入力および 2 つの出力)。Clarett 8PreX へ/からの追加の入出力としてそれぞれ使用します。**OPTICAL IN 1 ~ 8** コネクタを代わりに使用して、オプティカル S/PDIF 出力を搭載した外部ソースから 2 つのチャンネルの S/PDIF 信号を受け取ることも可能です。同様に、**OPTICAL OUT 1 ~ 8** コネクタを使用して、オプティカルフォーマットで信号を S/PDIF OUT にルーティングさせることも可能です。これらのオプションは Focusrite Control から選択できます。
6. **WORD CLOCK OUT** - Clarett 8PreX のワードクロックを伝送する BNC コネクタ。レコーディングシステムの一部を形成するその他のデジタルオーディオ機器と同期するために使用します。Clarett 8PreX が使用するサンプルクロックの同期先は、Focusrite Control から選択されます。
7. **WORD CLOCK IN** - 外部ワードクロック信号を接続するための BNC コネクタ。スタジオ内の全てのデジタルオーディオデバイスの同期を行う際のマスタークロックが存在する場合、こちらの入力を使用します。
8. **⚡** - Thunderbolt™ コネクタ。適切な Thunderbolt™ ケーブルを使用して、Clarett 8PreX をコンピュータに接続します。

9. **MIDI IN** および **MIDI OUT** – 外部MIDI機器を接続するための標準 5 ピン DIN ソケット。コンピュータから/へ MIDI データを送信し、追加の MIDI デバイスに分配することができます。
10. **SPDIF IN** および **OUT** – 2 チャンネルのデジタルオーディオ信号を S/PDIF 形式で Clarett 8PreX から/へ送信する 2 つのフォノ (RCA) ソケット。他の全ての入出力と同様に、S/PDIF 信号のルーティングは Focusrite Control でカスタマイズが可能です。
11. AC 電源 – IEC 規格コンセント。Clarett 8PreX には広く使用していただける電源が備わっており、100V ~ 240V、50Hzまたは 60Hzのいかなる AC 電源の電圧にも対応しています。

Clarett 8PreX を接続する

重要 : Clarett 8PreX をコンピュータに接続する前に、ページ 5 の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了してください。
これにより、ハードウェアが正しいドライバを使用し、予期せぬ動作を防ぎます。

Clarett 8PreX は、付属の AC 電源ケーブルで AC 電源に接続する必要があります。IEC コネクタをリアパネルの IEC コンセントに差し込み、フロントパネルの電源スイッチで本体の電源を入れます。

Clarett 8PreX には Thunderbolt™ ポート (リアパネル) が備わっています。ソフトウェアのインストールが完了したら、Thunderbolt™ ケーブルを使用して Clarett 8PreX をコンピュータに接続します。

コンピュータのオーディオセットアップ

お使いの OS は、Clarett 8PreX をデフォルトのオーディオデバイスとして自動的に認識します。必要に応じて、この選択が正しく行われているか確認することができます。様々なオペレーティングシステムで確認する方法に関しては、www.focusrite.com/get-started/clarett8PreX を参照してください。

DAWでのオーディオセットアップ

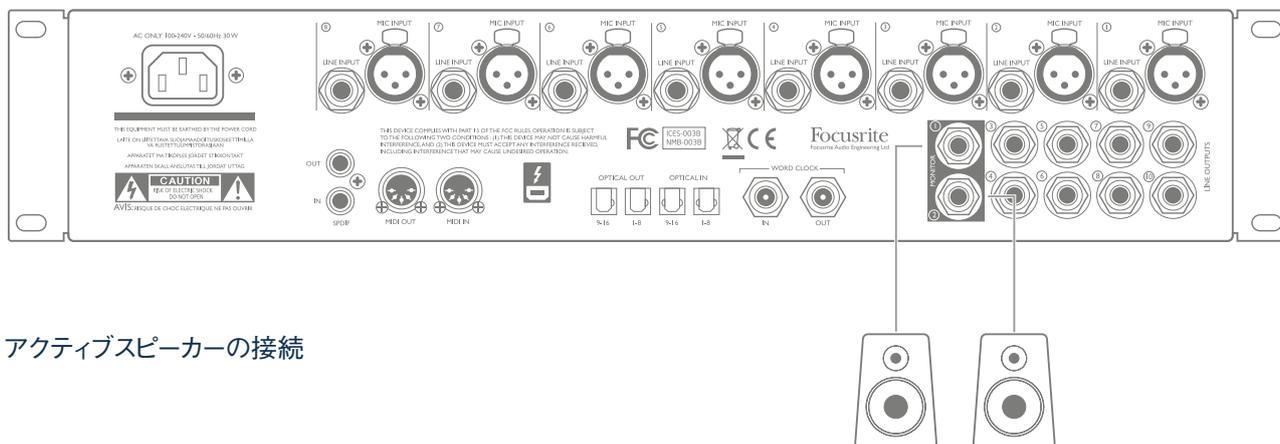
ドライバをインストールして本体を接続したら、DAW と一緒に Clarett 8PreX を使用することができます。

注意 ; DAW が Clarett 8PreX をデフォルトの I/O デバイスとして自動的に選択しない場合があります。この場合、DAW の **オーディオ環境設定*** ページで手動で **Focusrite Thunderbolt** ドライバを選択する必要があります。Core Audio ドライバを選択する場所が不明な場合は、DAW のマニュアル (またはヘルプファイル) を参照してください。

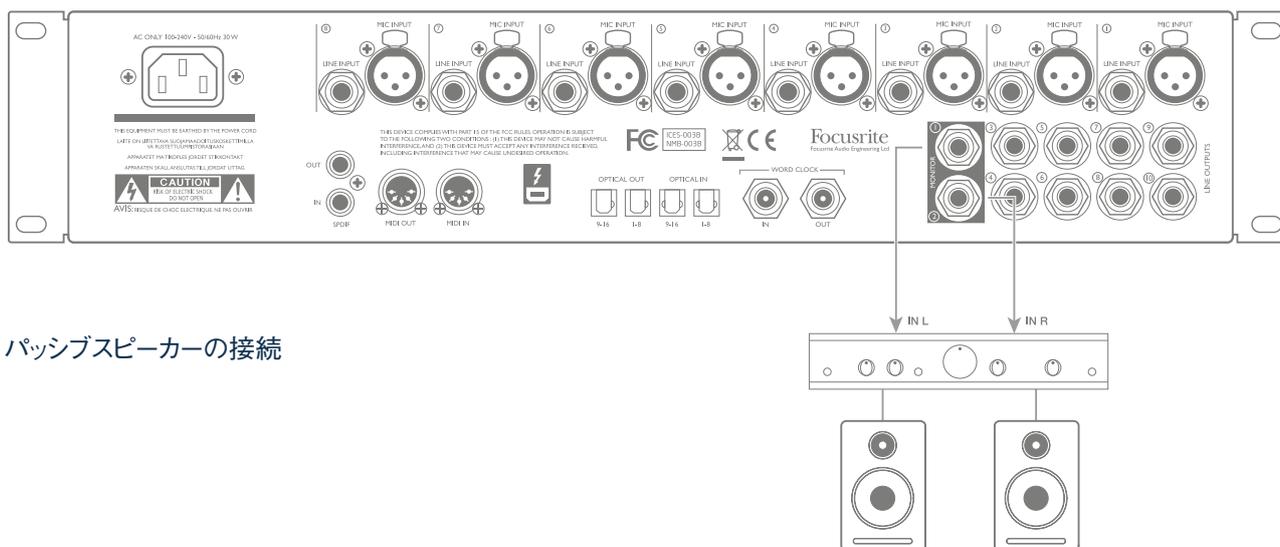
*一般的な呼称 - 名称は DAW によって異なる場合があります

Clarett 8PreX をラウドスピーカーに接続する

リアパネルの 1/4 インチジャック **MONITOR** 出力（LINE OUTPUTS 1 および 2）は、通常モニタリングスピーカーの駆動に使用されます。アンプ内蔵型モニター（アクティブモニターとして知られるもの）では、内部にアンプが組み込まれているため直接接続することができます。パッシブラウドスピーカーには別途ステレオアンプが必要です。この場合、リアパネルの出力部とアンプの入力部を接続する必要があります。



アクティブスピーカーの接続



パッシブスピーカーの接続

全てのライン出力コネクタは、3 極 (TRS) 1/4 インチジャックソケットであり、バランス接続です。一般的な家庭用 (Hi-Fi) アンプと小型パワードモニターには、フォノ (RCA) ソケットまたはコンピュータに直接接続するための 3.5mm 3 極ジャックプラグ経由のいずれかにアンバランス入力があります。いずれの場合も、一端にジャックプラグの付いた適切な接続ケーブルを使用します。

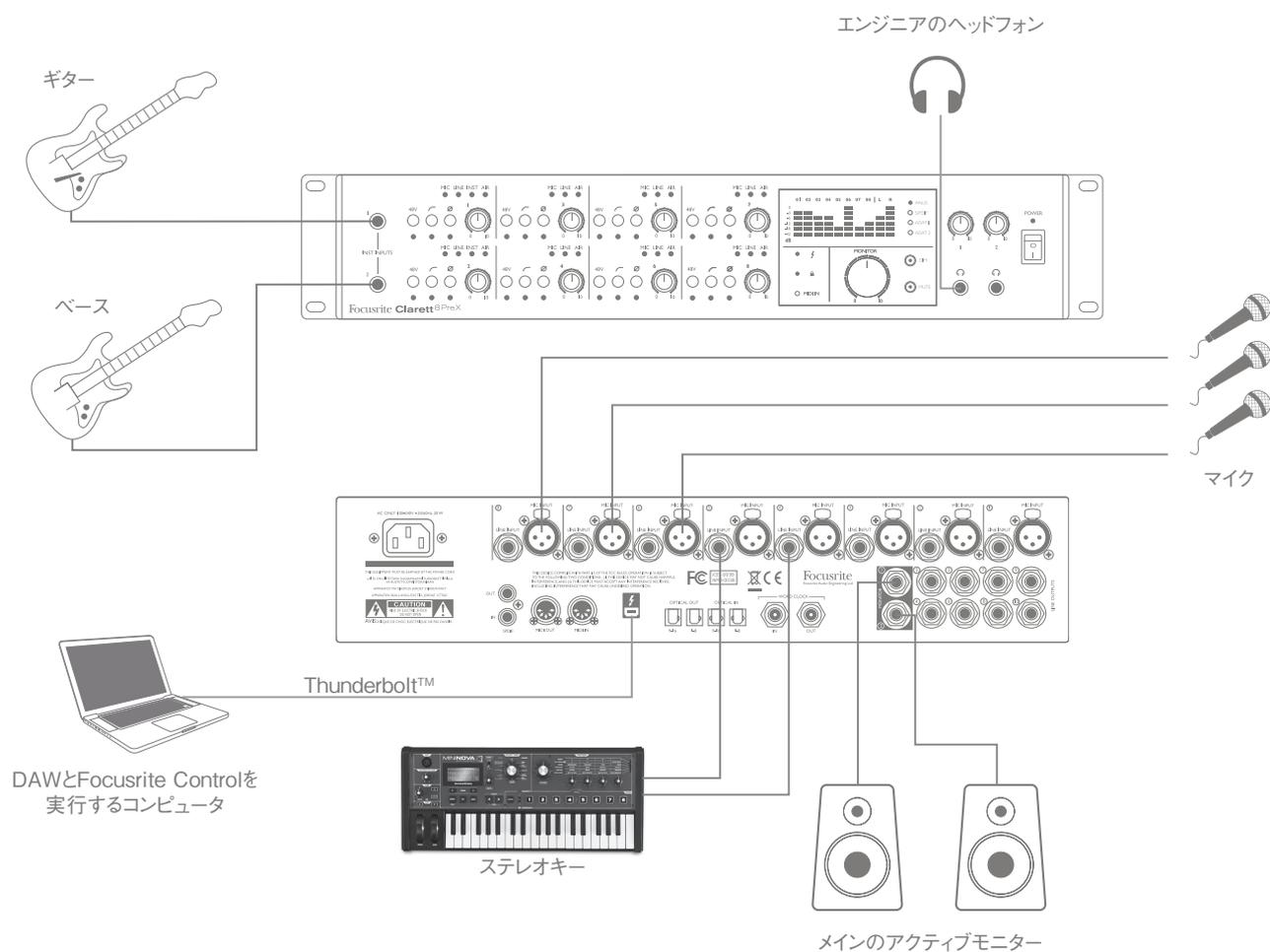
プロフェッショナル用パワーアンプは一般的にバランス入力を備えています。

ミキシングを行う際に、複数のスピーカーのペア（ミッドフィールド、ニアフィールドなど）を出力のペアに接続し、Focusrite Control を使用してミックスを別々の出力にルーティングして、異なるスピーカーからミックスをチェックすることも可能です。

使用例

Clarett 8PreX は、多くのレコーディングおよびモニタリングアプリケーションにとって優れた選択肢となります。一般的な構成例をいくつか以下に示します。

1. バンドのレコーディング

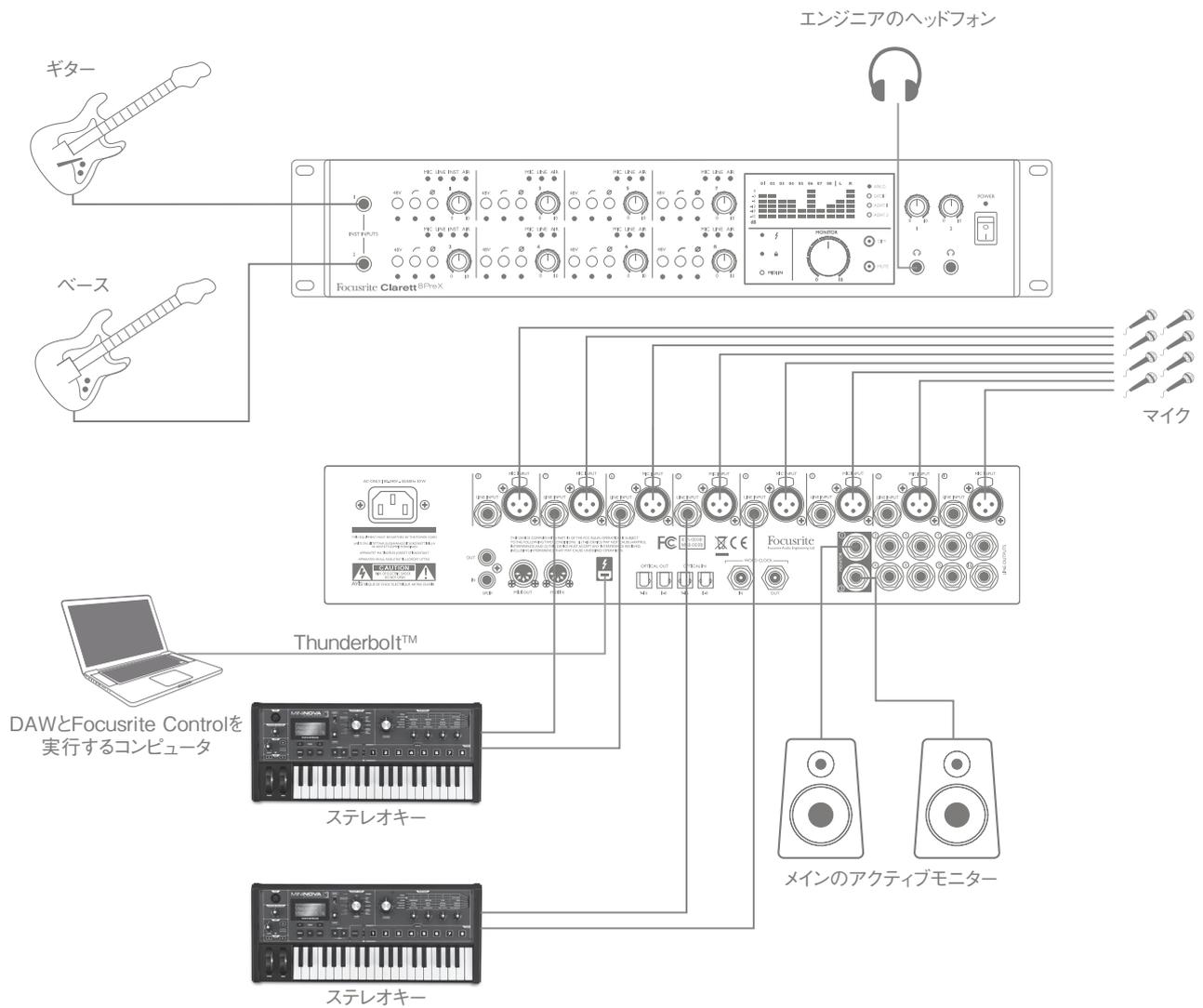


このセットアップでは、コンピュータで DAW ソフトウェアを使用して行うマルチトラックレコーディングの一般的な構成を示しています。

ソースの選択 - 上図では、マイクとギター、そしてキーボードが Clarett 8PreX の入力部に接続されています。チャンネル 1 および 2 では、楽器を直接入力できるよう設定が可能のため、ギター類はこちらに接続されています。Focusrite Control でこれらを INST モードに設定し、INST LED が点灯していることを確認してください。同様に、ステレオキーボードをチャンネル 4 と 5 のライン入力に接続し、ソフトウェアからこれらの入力を LINE に選択します。

DAW ソフトウェアを実行しているコンピュータには、Thunderbolt™ ケーブルを使用して本体が接続されています。これにより、DAW と Clarett 8PreX 間で全ての入出力信号が伝送されます。DAW 上でオーディオセットアップが正しく構成されると、各入力元は DAW のそれぞれのレコーディングトラックに自動的にルーティングされます。

2. プロジェクトスタジオ



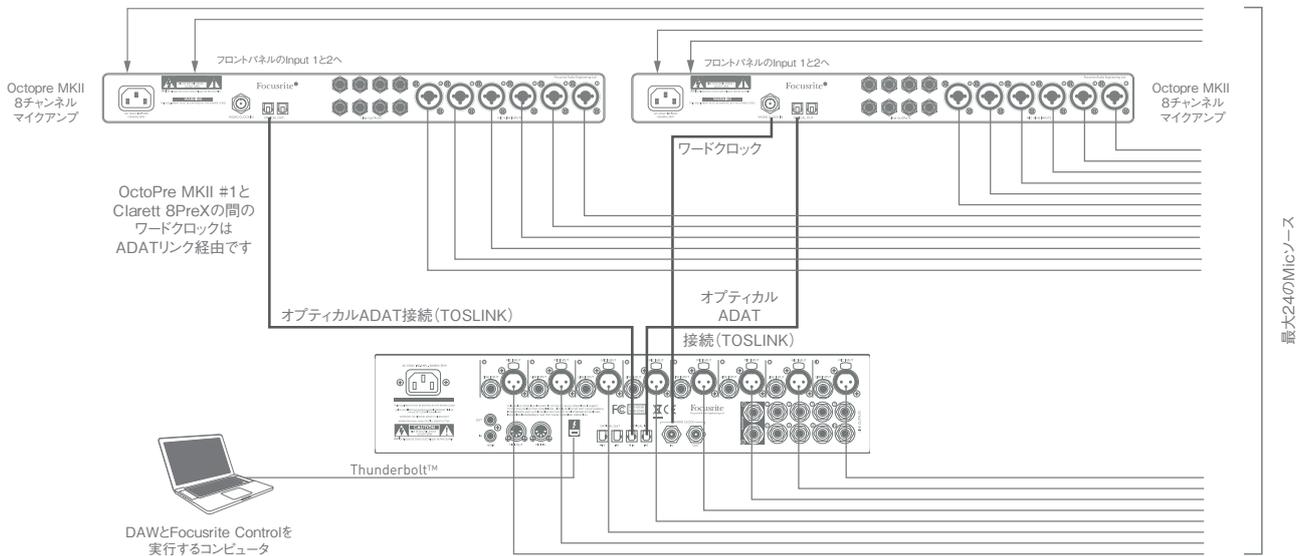
Clarett 8PreX の魅力の一つとして、その入力部の多さが挙げられます。プロジェクトスタジオでは、これらを常にそれぞれのサウンドソースに使用することができるため、一曲を構成する様々なトラックを制作する際に、楽器同士を切り替えたり、接続をし直したりといった作業を最小限で済ませることが可能です。

この例では、INST 入力を選択されたチャンネル 1 および 2 にギターとベースを接続しつつ、様々な電子楽器を全てのチャンネルの LINE 入力に接続することが可能です。基本的に全てのチャンネルのマイク入力は、レコーディングスペースの様々な位置に配置されたマイクの入力端子に接続されます。

このような形でさらに多くの楽器を接続する必要がある場合には、セットアップにパッチベイを使用することができます。または、OctoPre を使用して入力数を増やすことも可能です（使用例 3 を参照）。

3. オプティカル接続を使用して入力部を拡張する

8つのアナログ入力に加え、Clarett 8PreXには ADAT 入力ポート (**OPTICAL IN**) が搭載されています。これにより、44.1/48kHzのサンプルレートで8つ、88.2/96kHzで4つ、または176.4/192kHzで2つのオーディオ入力を追加できます。ADAT 出力を装備した Focusrite OctoPre MkII のような8チャンネルマイクプリアンプを1つまたは2つ使用することで、簡単にClarett 8PreXの入力機能を拡張することができます。



この例では、OctoPre MkII の **OPTICAL OUT** ポートが、2本の TOSLINK オプティカルケーブルで Clarett 8PreX の **OPTICAL IN** ポートに接続されています。図のマイク入力では、最大 24 のマイクまたはライン入力を組み合わせることが可能で、INST レベルの信号を含ませることも可能です。

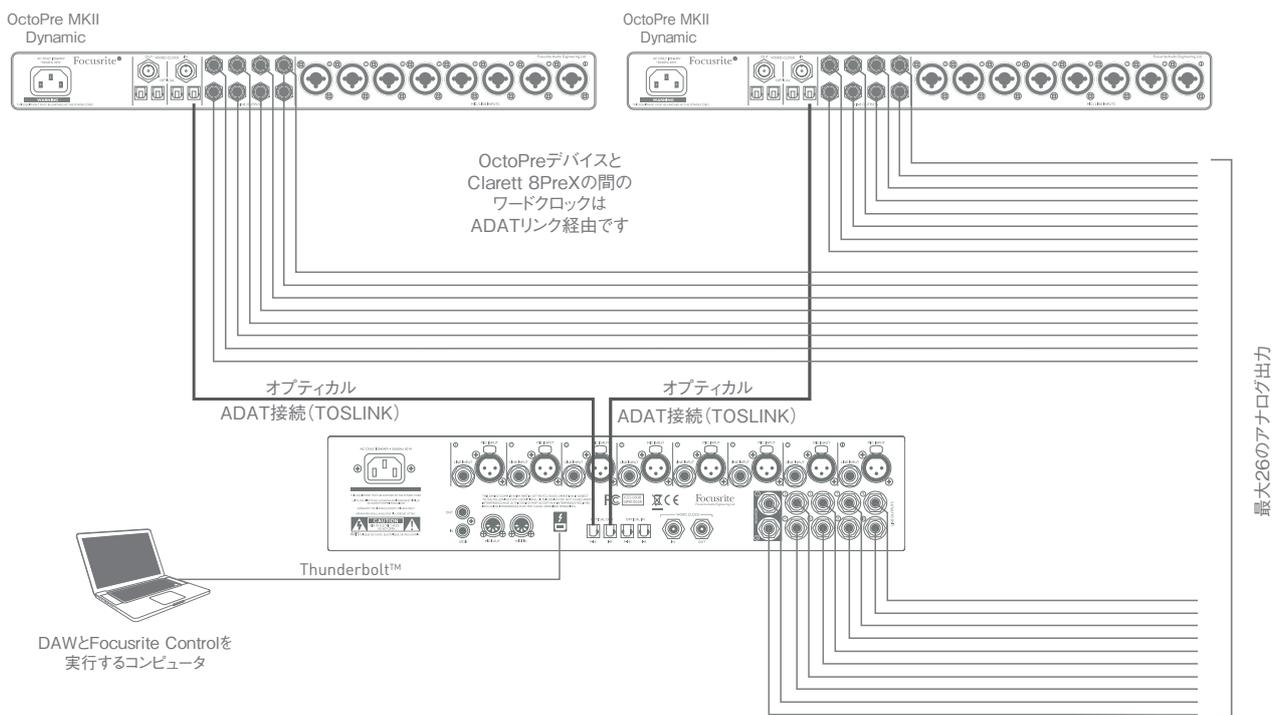
一つの OctoPre MkII を同期のマスターに、Clarett 8PreX の同期ソースを ADAT に設定することで、安定したワードクロック同期を実現できます。もう一つの OctoPre MkII は、**WORD CLOCK IN** を Clarett 8PreX の **WORD CLOCK OUT** に BNC ケーブルで接続することで同期させることができます。

注意：2つのデジタル機器を相互接続する際は、いかなる場合にも必ずこれら両方の機器を同一のサンプルレートに設定してください。

オプティカルポートの使用によって追加された入力は、Focusrite Control を使用することで、その他の入力と全く同じ方法でルーティングを行うことが可能です。必要に応じて、追加された入力をミュージシャンのヘッドフォンミックスに加えることができます。

4. オプティカル接続を使用して出力部を拡張する

Clarett 8PreX の 2 つの ADAT 出力ポート (**OPTICAL OUT**) を使用してアナログ出力を拡張することで、別途用意した D/A コンバータに出力を送ってアナログ出力を拡張することが可能です。Focusrite OctoPre MkII DYNAMIC はこのような目的に適した 8 チャンネルのユニットであり、オプティカル入力と同様に、各オプティカル出力は 44.1/48 kHz サンプルレートで 8 つ、88.2/96kHz で 4 つ、または 176.4/192kHz で 2 つのオーディオチャンネルを追加することができます。これは、ミキシングコンソールに複数のアナログ出力を提供する際の優れた手段となり、DAW トラックを多数使用して複雑なミキシングを行う際にも推奨される方法となります。



例では、2 つの OctoPre MkII DYNAMIC の **OPTICAL IN 1-8** ポートが、2 本の TOSLINK オプティカルケーブルで Clarett 8PreX の **OPTICAL OUT** ポートに接続されています。このように拡張された出力は、他の出力と全く同じ方法で Focusrite Control 内でルーティングを行うことが可能です。

この場合、Clarett 8PreX の同期ソースを INT に設定 (同期マスターとして設定し、両方の OctoPre MkII DYNAMIC の同期ソースを ADAT に設定して同期を行います。これにより、全ての同期がオプティカルリンク経由となり、追加のケーブルが不要となります。

注意: 2 つのデジタル機器を相互接続する際は、いかなる場合にも必ずこれら両方の機器を同一のサンプルレートに設定してください。

FOCUSRITE CONTROL - 概要

Focusrite Controlは Clarett 8PreX と一緒に使用するソフトウェアアプリケーションであり、各演奏者のためにカスタムモニターミックスを作成したり、全てのオーディオ信号を本体のオーディオ出力部にルーティングすることができます。サンプルレート選択とデジタル同期ソースの設定は、全て Focusrite Control から行えます。

Focusrite Clarett シリーズの全製品で Focusrite Control を使用することができます。コンピュータに Clarett インターフェースを接続し、Focusrite Control を起動すると、インターフェースが自動的に検出され、本体上で使用可能な入出力、およびその他の機能の数に合わせてソフトウェアが構成されます。

Focusrite Control には専用のユーザーガイドが用意されており、ソフトウェアのすべての側面に関する詳細な操作手順が記載されています。これは<http://www.focusrite.com/downloads>よりダウンロードが可能です。

Clarett 8PreX 技術仕様

性能仕様

構成	
入力	26 : アナログ (8)、S/PDIF (2)、ADAT (16)
出力	28 : アナログ (10)、S/PDIF (2)、ADAT (16)
ミキサー	完全に割り当て可能な 30 イン/16 アウトミキサー
デジタル性能	
対応サンプルレート	44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz
マイク入力	
周波数特性	20Hz - 20kHz +/-0.1dB
ダイナミックレンジ	118dB (A特性)
THD+N	0.001%
ノイズ EIN	-128dBu (A特性)
最大入力レベル	+18dBu
ゲインレンジ	57dB
ライン入力	
周波数特性	20Hz - 20kHz +/-0.1dB
ダイナミックレンジ	116dB
THD+N	0.005%
最大入力レベル	+26dBu
ゲインレンジ	57dB
楽器入力	
周波数特性	20Hz - 20kHz +/-0.1dB
ダイナミックレンジ	111dB (A特性)
THD+N	0.001%
最大入力レベル	+14dBu
ゲインレンジ	+57dB
ラインおよびモニター出力	
周波数特性	20Hz - 20kHz +/-0.1dB
ダイナミックレンジ (ライン出力)	119dB
ダイナミックレンジ (モニター出力)	117dB
THD+N	0.0007%
最大出力レベル (0dBFS)	+18dBu、バランス

ヘッドフォン出力	
ダイナミックレンジ	112dB
THD+N	0.0008%
最大出力レベル	+16dBu

物理的特性と電気的特性

アナログ入力 1 & 2	
コネクタ	マイク：XLR ソケット、ライン：リアパネルの¼インチ TRS ジャック Inst：フロントパネルの¼インチ TS ジャック
マイク/ライン/インストゥルメント切替	Focusrite Control 経由
ファンタム電源	+48V、チャンネルごとに切り替え可能
アナログ入力 3 ~ 8	
コネクタ	マイク：XLR ソケット、ライン：リアパネルの¼インチ TRS ジャック
Mic/Line 切替	Focusrite Control 経由
ファンタム電源	+48V、チャンネルごとに切り替え可能
アナログ出力	
メイン出力	10 x リアパネルのバランス¼インチ TRS ジャック
ステレオヘッドフォン出力	2 x フロントパネルの¼インチ TRS ジャック
メインモニター出力レベルコントロール	フロントパネル上
ヘッドフォンレベルコントロール	
その他の入出力	
ADAT 入出力	4 x TOSLINK オプティカルコネクタ： 44.1/48kHzの場合 16 チャンネル 88.2/96kHzの場合 8 チャンネル 176.2/192kHzの場合 4 チャンネル
S/PDIF 入出力	2 つのフォノ（RCA）はソフトウェア上で ADAT ポートに再割り当て可能
ワードクロック出力	BNC コネクタ
データコネクタ（コンピュータ用）	1 x Thunderbolt コネクタ
MIDI 入出力	2 x 5 ピン DIN ソケット
重量および寸法	
幅 x 高さ x 奥行	482.5mm x 88mm x 288mm 19 インチ x 3.46 インチ x 11.34 インチ
重量	5.25kg 12.13 ポンド

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関する質問がある場合は、Focusrite Answerbase にアクセスしてください。
www.focusrite.com/answerbase このウェブページでは多数のトラブルシューティング例を紹介しています。

著作権表示と法定通知

Focusrite は登録商標であり、Clarett 8PreX は Focusrite Audio Engineering Limited の商標です。

その他すべての商標および商品名はそれらの個別の所有者の財産です。

2015 © Focusrite Audio Engineering Limited. 禁無断転載。

